

大阪府シカ・イノシシ第二種鳥獣管理計画(平成 29 年度～令和 3 年度)の  
取組結果及び今後の捕獲目標等について

令和4年7月 19 日

動物愛護畜産課

1. 大阪府シカ・イノシシ第二種鳥獣管理計画(平成 29 年度～令和 3 年度)の取組結果

● 管理計画

獣種	目標	結果
シカ	農業被害が「大きい」又は「深刻」である地域をなくす	・依然として、農業被害が「大きい」又は「深刻」である地域が存在 ・農業被害金額は同程度で推移
イノシシ	農業被害が「大きい」又は「深刻」である地域をなくす	・依然として、農業被害が「大きい」又は「深刻」である地域が存在 ・農業被害金額は同程度で推移

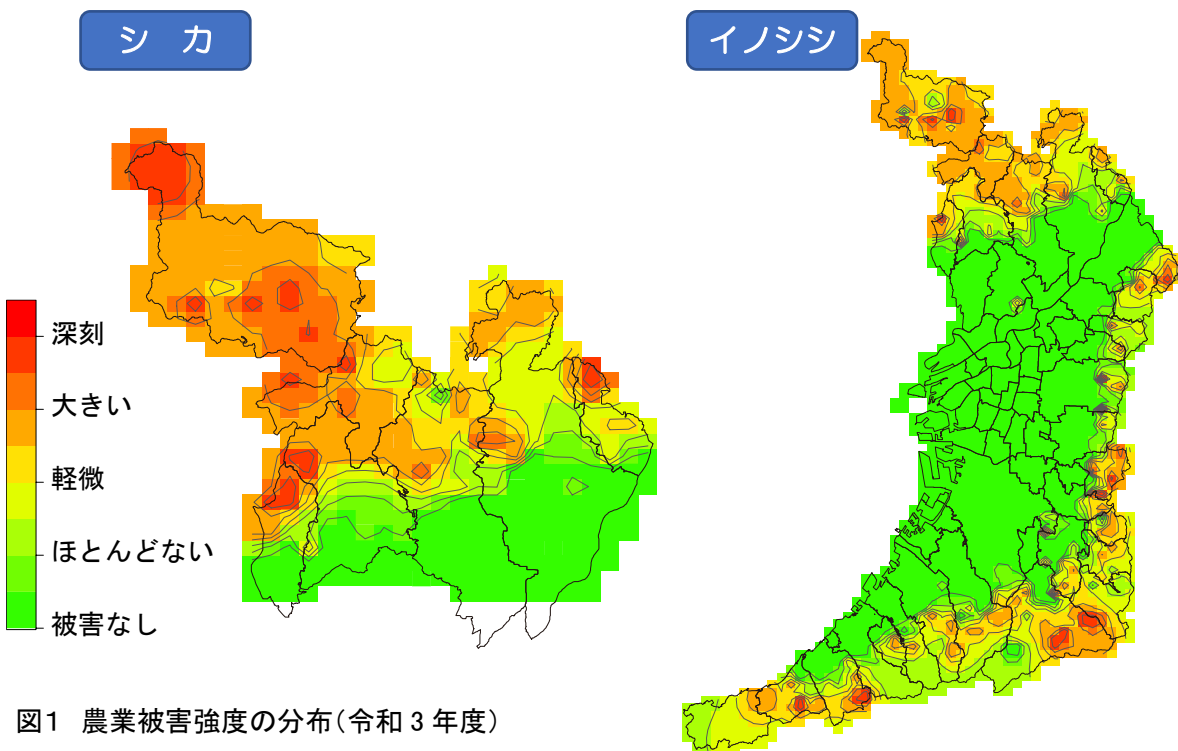


図1 農業被害強度の分布(令和 3 年度)

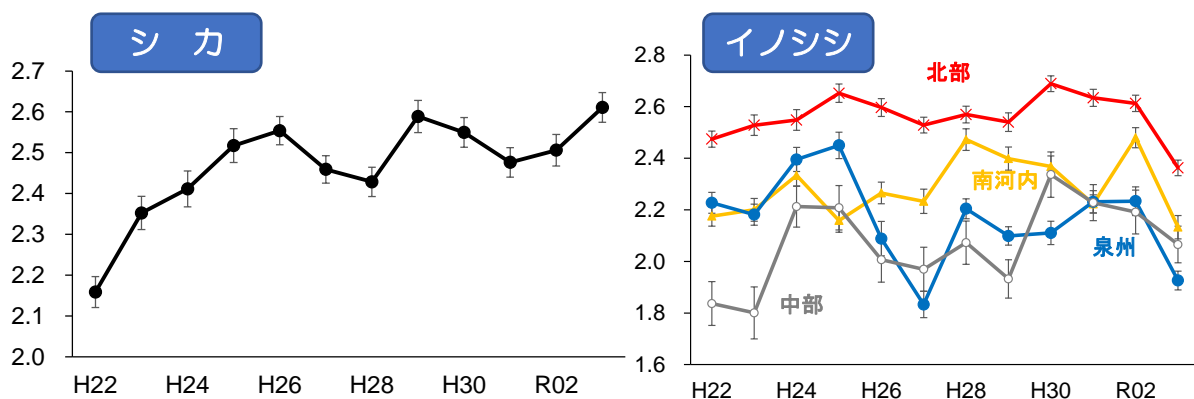


図2 農業被害強度の推移

※農業被害強度 0:被害なし、1:ほとんどない、2:軽微 3:大きい、4:深刻

● 個体数管理

獣種	区分	目標	結果
シカ	平均推定生息密度	10 頭/km <sup>2</sup> 以下	12.4~18.8 頭/km <sup>2</sup>
	年間最低捕獲数	1,400 頭 以上	1,089~1,696 頭 (平均 1,374 頭)
イノシシ	銃猟目撃効率	0.15 頭/人日 以下	0.11~0.41 頭/人日 (R3 に 0.11 頭/人日)
	年間最低捕獲数	3,100 頭 以上	1,132~4,074 頭 (平均 3,199 頭)

シカ

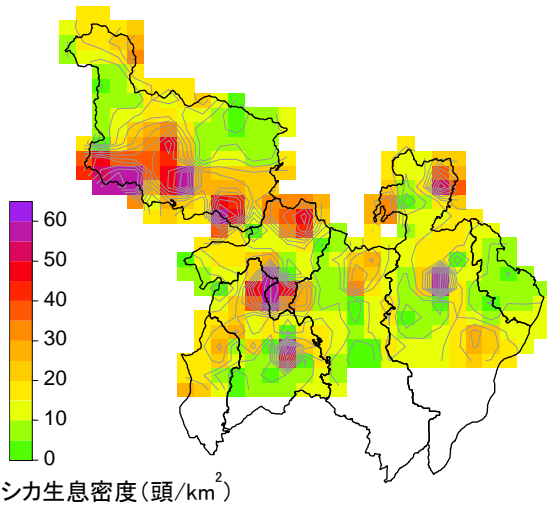


図3 シカの生息密度の分布(令和3年度)

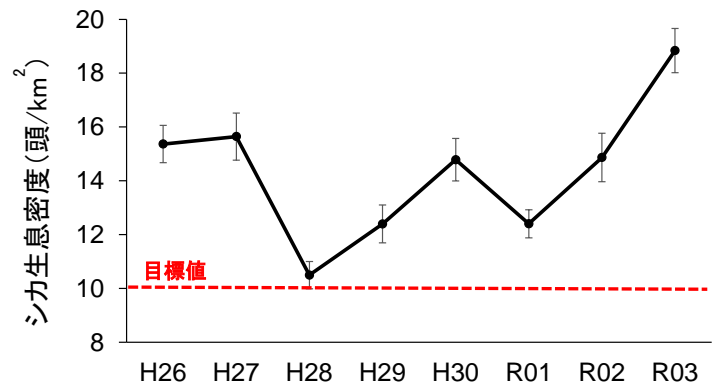


図4 シカの生息密度の推移

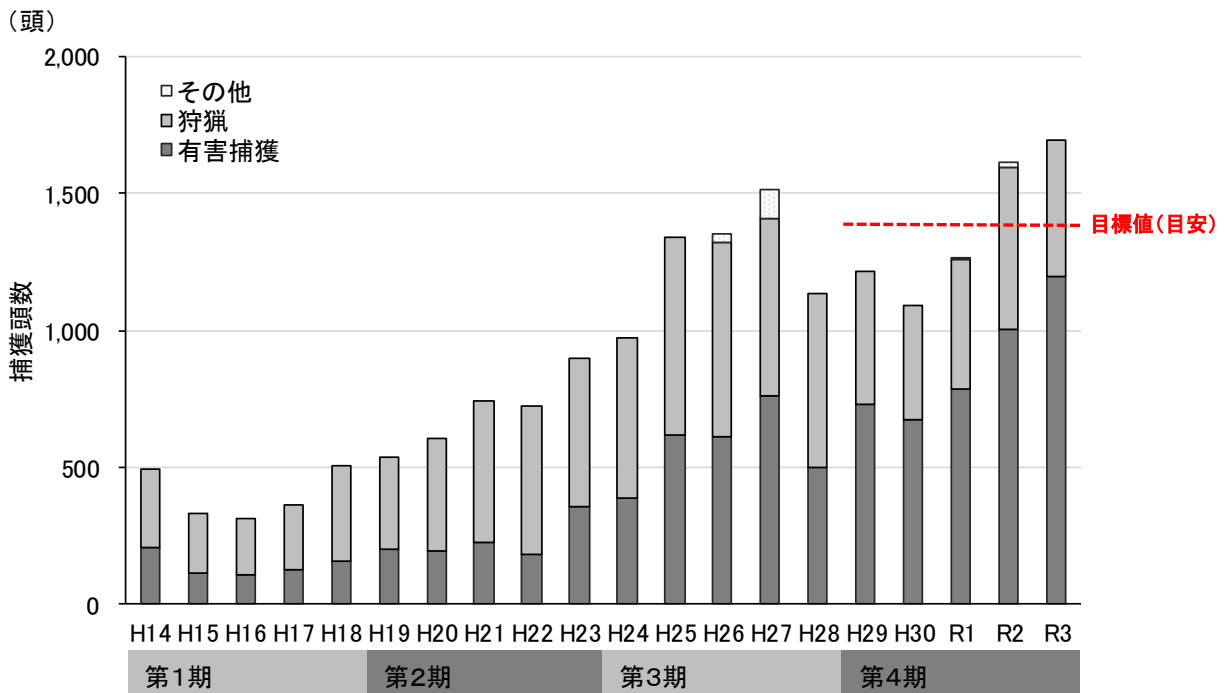


図5 シカの捕獲頭数の推移

# イノシシ

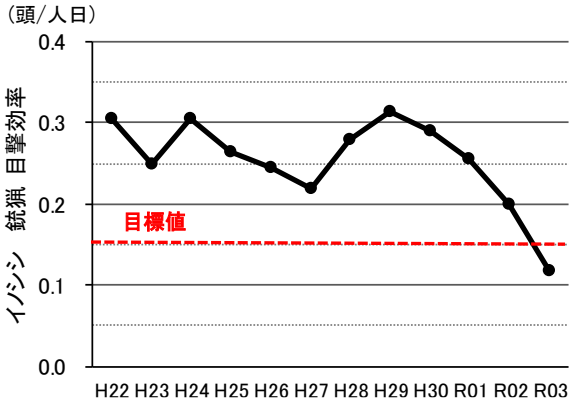


図6 イノシシの銃猟目撃効率の推移

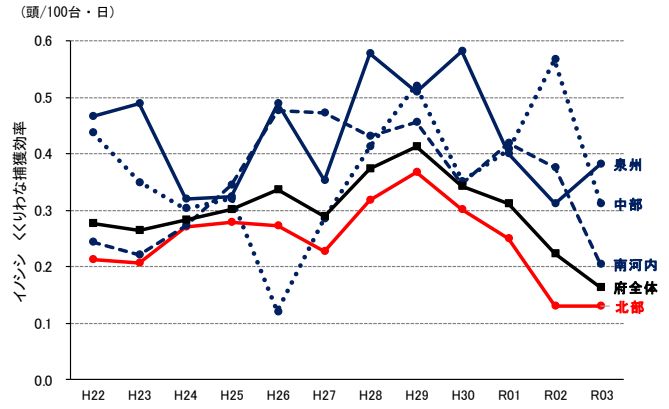


図7 イノシシのくくりわな捕獲効率の推移

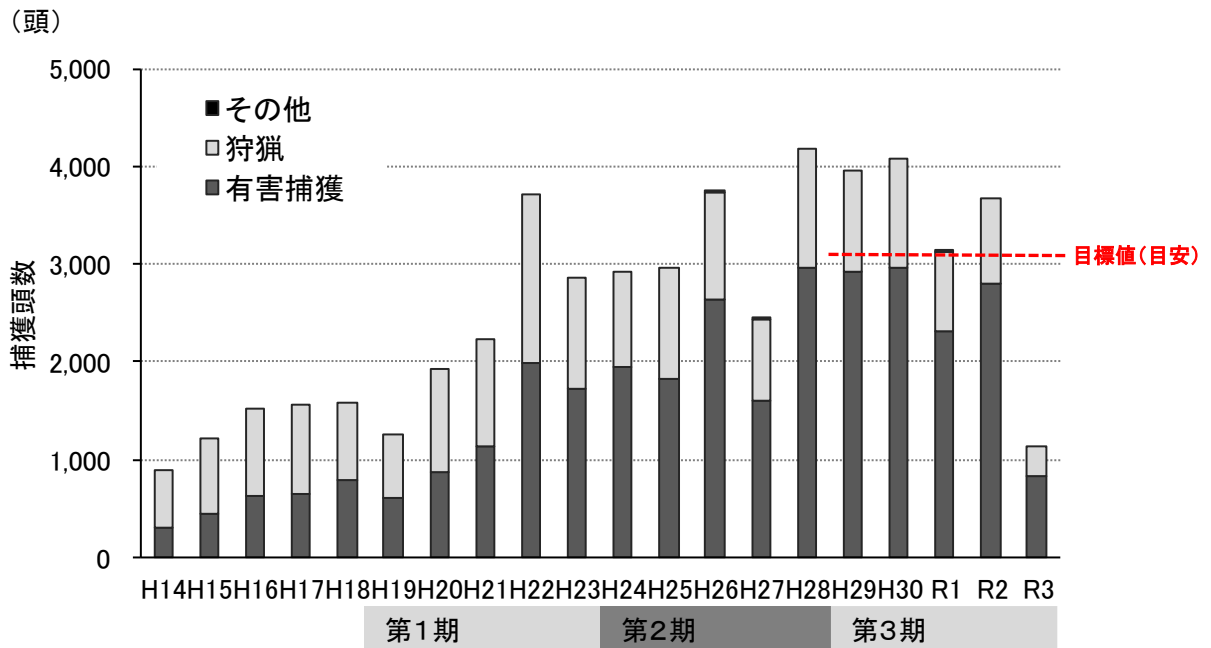


図8 イノシシの捕獲頭数の推移

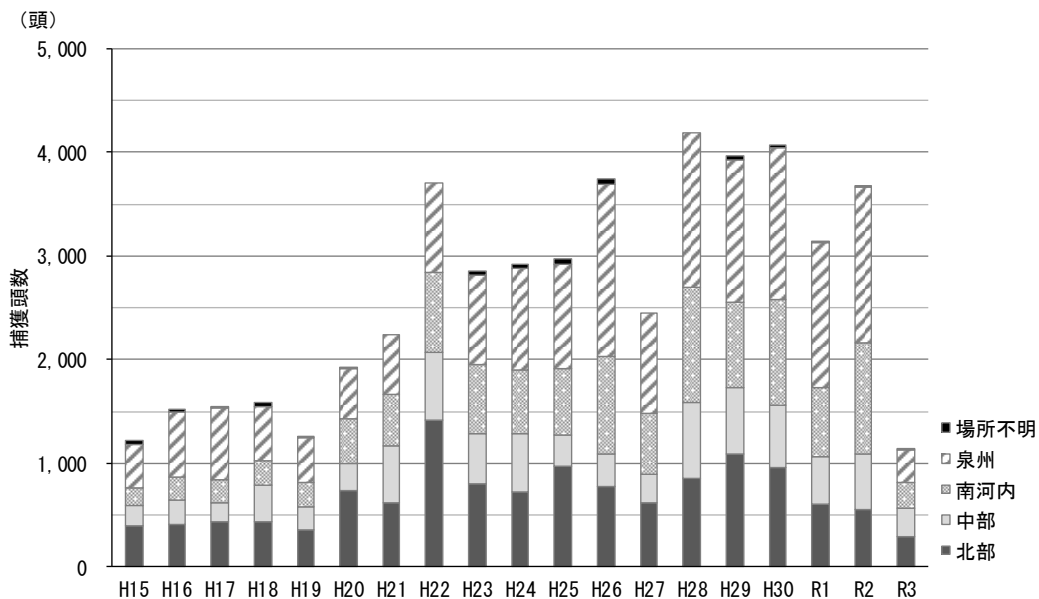


図9 イノシシの捕獲頭数の推移(地区別)

## 2. 今後の捕獲目標等

- シカ

### 【北部地域における捕獲計画】

#### ○現行計画(第5期)における捕獲計画

(単位:頭)

計画期	第4期		第5期			
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
年度当初の推定生息頭数(最大値)	※1 6,400	6,380	6,110	5,780	5,390	4,920
計画捕獲頭数	※2 1,400	1,550	1,550	1,550	1,550	1,550
年度末の推定生息頭数(最大値)	6,380	6,110	5,780	5,390	4,920	4,350

※1 令和3年度の生息頭数は、令和2年度末の糞塊除去法による推定値を入力。

※2 令和3年度の捕獲頭数欄には、第4期の捕獲目標(1,400頭)を記入しているが、第5期における計画捕獲頭数の算出には、第4期の捕獲実績を考慮し、第4期(平成29年度～令和2年度)の平均値(1,300頭)を用いた。



#### ○令和3年度モニタリング調査結果を踏まえた捕獲計画

(単位:頭)

計画	年度	年度当初 生息頭数	増加頭数 (20%)	増加後の 頭数	捕獲頭数	年度末 生息頭数	備考
第4期	H29				1,216	5,600	年度末生息数は H29年度調査結果(最大値)
	H30				1,089	6,600	年度末生息数は H30年度調査結果(最大値)
	R1				1,258	5,600	年度末生息数は R1年度調査結果(最大値)
	R2				1,611	6,400	年度末生息数は R2年度調査結果(最大値)
	R3					(5,900)	年度末生息数は R3年度調査結果(平均値)
						1,695	7,300 年度末生息数は R3年度調査結果(最大値)
第5期	R4	(5,900)	(1,180)	(7,080)	(1,550)	(5,530)	
		7,300	1,460	8,760	1,550	7,210	
	R5	(5,530)	(1,110)	(6,640)	(1,550)	(5,090)	
		7,210	1,440	8,650	1,550	7,100	
	R6	(5,090)	(1,020)	(6,110)	(1,550)	(4,560)	
		7,100	1,420	8,520	1,550	6,970	
	R7	(4,560)	(910)	(5,470)	(1,550)	(3,920)	
		6,970	1,390	8,360	1,550	6,810	
R8	(3,920)	(780)	(4,700)	(1,550)	(3,150)		
	6,810	1,360	8,170	1,550	6,620		

※ 令和3年度末の生息頭数は平均値～最大値の幅の中にあると推定。

下段は、令和4年度当初生息頭数を令和3年度推定頭数の最大値として推定。

上段〔( )内〕は、令和4年度当初生息頭数を令和3年度推定頭数の平均値として推定。

(参考)平成28年度 推定生息頭数 :最大値:4,900頭 平均値:3,300頭

推定生息密度 :7.3～15.7頭/km<sup>2</sup>(平均 10.5頭/km<sup>2</sup>)

- ・令和3年度の推定生息密度の最大値をもとに今後の生息頭数(最大値)を推定すると、年間1,550頭の捕獲では計画期間内に個体数管理の目標(10頭/km<sup>2</sup>以下)を達成することはできない。なお、最大値をもとに“10頭/km<sup>2</sup>以下”の目標を達成するためには、年間1,800頭以上の捕獲が必要となる。
  - ・令和3年度の推定生息密度の平均値をもとに今後の生息頭数を推定すると、年間1,550頭の捕獲で計画期間内に個体数管理の目標(10頭/km<sup>2</sup>以下)を達成することができる。
  - ・本計画の捕獲目標の設定に当たっては、推定値の幅を考慮し、安全側に見て、推定生息頭数の最大値をもとに捕獲目標を設定したところである。令和3年度に生息数の増加が見られるものの、推定生息数は幅を持ったものであり、今後の経過を観察する必要がある。
  - ・ここ数年の捕獲実績は1,600頭以上と捕獲目標を上回っているものの、生息密度が高い地域等でのより効率的な捕獲が求められる。
- ⇒捕獲目標としては第5期計画に掲げた目標(1,550頭/年)を継続し、今後の経過を観察しながら、生息密度が高い地域等での更なる捕獲強化を推進する。

● イノシシ

【各地区別の捕獲状況】

(単位:頭)

地区	捕獲実績							捕獲目標 (第4期)
	H28	H29	H30	R01	R02	H28~R02 平均	R03	
北部	851	1,086	955	607	558	811	298	500
中部	734	647	609	454	539	597	268	700
南河内	1,118	827	1,023	670	1,070	942	247	900
泉州	1,485	1,370	1,463	1,395	1,503	1,443	312	1,400
(不明)	0	39	24	11	14	-	7	-
大阪府全域	4,188	3,969	4,074	3,137	3,684	3,810	1,132	3,500

- ・令和3年度は豚熱の影響より捕獲数が激減(H28~R2平均の約3割)。
  - ・ただし、豚熱が収束すると急激に個体数が増加する可能性がある。また、豚熱まん延防止のためにも野生イノシシの捕獲は重要である。
- ⇒第4期計画に掲げた捕獲目標を継続し、今後の経過を観察する。